

# Zenkyu

後援会会報NO5

2008年6月 発行

## 各地へ飛んで行ったオカリナ奏者・善久(Zenkyu)

昨年実現した、ベラルーシ共和国での海外公演に関する記事が、全国的に配信されました。年末に共同通信の澤記者から、上遠野音楽事務所に取材の依頼があり、話が盛り上がるような楽しいインタビューだったと聞きました。

写真の記事が、愛媛、佐賀、大分合同、徳島、中国、日本海、南日本、高知、秋田、中日の各新聞に載りました。

日本列島、南から北へと、オカリナ奏者・善久(Zenkyu)の顔と人柄を知ってもらう機会ができたこと、喜びたいと思います。

どんなことでも、まずは種まきから始まり、チャンスを得て花を咲かせる……そう信じています。

(高知新聞12月22日朝刊)

子供たちは音が鳴るのがうれしい

ベラルーシの子供病院を慰問したオカリナ奏者 善久さん

**ひと**

がん病棟の子供たちは目を輝かせてオカリナを吹き始めた。歩けない子がほとんど。手が弱り包みを開けられない子も、初めて見る楽器に笑顔を見せた。ベラルーシの国立小児がんセンターを十月に慰問。二百本のオカリナをプレゼントした。

「帰るころには病棟中からオカリナが響いて、子供たちは音が鳴るのがうれしんですよ」。病院スタッフは「呼吸カトレ・ニンクグに使える」と喜んだという。

オカリナの魅力を広めるため各国の学校などを訪問。ベラルーシには、友人に招かれた。

大人のリハビリ病棟のホテルや市民会館でもコンサートをしたが、設備は最低。「節電のためか照明が暗引かれ薄暗く、寒い。オカリナは陶器だから暖かくないと結構して音に影響するんです」。

客席には「笑わない」と言われるベラルーシ人。しかし、「曲目の「さくら さくら」を始めたとなん不安は消えた。「見を間に」ゆかになり、大きな拍手。うれしかった」。演奏後は、ステージで賞賛攻め。五歳ぐらいの男児を連れた母親は「この子をこんなに喜ばせてくれてありがとう」と目を潤ませた。

気になることもある。ベラルーシの子供たちは一時間のコンサートに集中して聞き入るのに、日本で幼稚園に行くとも三十分もつかどうか。しかも年々短くなる。

「日本は金があっても感受性が低い国になってしまったのでは。：。シヨックだけれど、オカリナの音色で子供たちの気持ちを癒やしていきたい」。東京都出身、四十三歳。



### 2007年度後援会イベント報告

12月25日(火)恒例となった後援会イベントとして、土浦ロイヤルレイクホテルに於いて「善久(Zenkyu)クリスマス・ランチコンサート」を開催しました。

会場では、コンサートのほかベラルーシ共和国での訪問先やコンサートの様子をプロジェクトにより紹介。また、直井後援会会長による日本文化の紹介を再現してもらい盛り上がりしました。

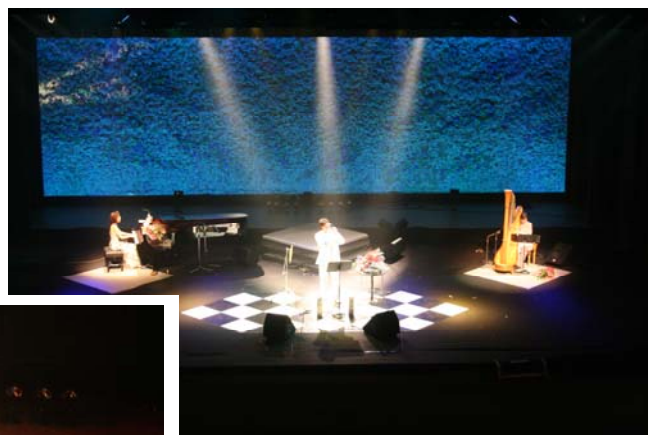
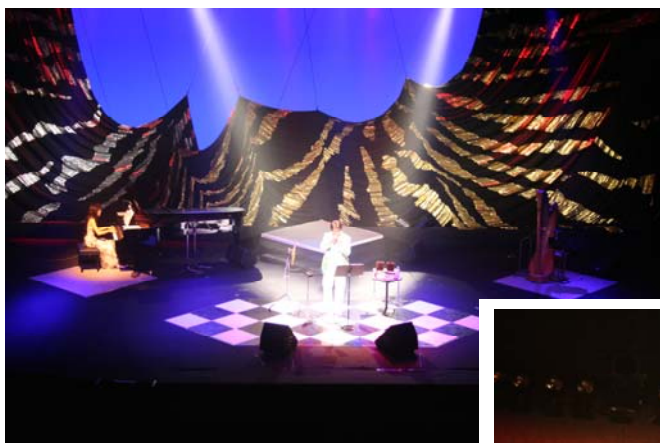


# 後援会会員が全面バックアップで実現

## 茨城県牛久市で開催された善久 (Zenkyu)オカリナコンサート

このコンサートは、地元牛久市で善久(Zenkyu)のレッスンを受けているオカリナサークル『トゥッティ』さんが、全面バックアップして実現した同市文化協会主催のコンサート。

1200名収容の会場には、空席を探すのが大変なほど来場者が詰めかけすばらしい美術とすばらしい演奏に酔いしれていました。(ピアノ：田中明子さん ハープ：水野なほみさん)



牛久市文化協会本公演の担当者、酒井俊子様より手記が寄せられましたのでご紹介いたします。

### 牛久市文化協会主催「善久オカリナコンサート」

5月11日(日)牛久市生涯学習センター文化ホールに於いて“善久オカリナコンサート”が開催されました。主催は牛久市文化協会公演事前特別委員会によるものでしたが、主催とは名ばかりで、善久さんの後援会の皆さんの努力にすっかりおんぶにだっこの公演となりました。

当日は曇り空の中、開場1時間前には、100m以上もの長い列が出来、「自由席だから、少しでも良い席で聞きたい」というファンの方々の熱い思いが伝わりました・・・が、それ以上に舞台がすごかった。普通、反響板を使うのがクラシックコンサートの定番のところ、照明や装置、スモークを焚いての神秘的な舞台やら、後ろの幕には一面の花。オカリナの音色とピアノ、ハープの三者がお互いを引き立てあいながら心地よい、癒しの深〜いコンサートでした。お客様も誰もが満足した顔で帰られました。トゥッティの皆さん、後援会の皆さん、そして誰よりも善久さん本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

牛久市文化協会 酒井俊子

# オカリナ・ポポの会



私達のグループは、平成14年につくば市の公民館講座からスタートし、6年目を迎えました。

講座終了後に、「オカリナ・ポポの会」としてサークルを立ち上げ、その後他の講座からも数名加わり、メンバーの増減もありましたが、現在会員は13名です。

善久先生のレッスンは月2回ですが、レッスンのない週も自主練習の日として、課題曲や、お気に入りの曲を持ち寄ったりして練習しております。笠間での「カンタ



回、サークルの中だけでささやかな発表の場を設けております。又昨年は有志でつくばカピオでの「舞踊展」で「カンターレなかじょう」さんの有志の方と合同で、日舞と一緒に生演奏をしました。時にはお食事会なども計画し、オカリナを通して親睦を深めつつ、楽しんでいます。

ヨン様ことオカリナの貴公子善久先生の優しく丁寧なご指導に感謝しつつ、又先輩グループの活躍に感動し憧れながら、少しでも綺麗な音のアンサンブルが出来るように努力しています。

## 善久(Zenkyu)コンサート情報

### ●カンターレ・オカリナ コンサート 響き ～みの～れ森のホール 小美玉市～

日時：平成20年7月13日(日) 開場 13:00 開演 13:30

場所：[茨城県小美玉市四季文化館](#) [みの～れ 森のホール](#)

太子堂区民センター

### ●善久(Zenkyu) オカリナ&ケーナ コンサート

日時：平成20年7月27日(土) 開場 14:30 開演 15:00

場所：太子堂区民センター

### ●「善久(Zenkyu)門下生発表会& オカリナ・ケーナファミリーコンサート」(横浜関内)

日時：平成20年8月30日(土)

●2008/11/29(土) 善久(Zenkyu) オカリナ コンサート 津田ホール

●2008/11/30(日) 善久(Zenkyu) オカリナ コンサート ノバホール

**【詳しくは、Zenkyu ホームページおよび別紙をご覧ください】**



今さら聞けない・・・  
あんなこと！  
こんなこと！

## ♪ 音楽まめ知識

### 【オカリーナアンサンブルのコツ】

全員の音が合えば、澄んだ1本の音に聞こえます。合わないとビリビリとうねりが生じます。他のメンバーよりも、ピッチが高いと言われたら、息をコントロールしてピッチを下げます。(弱く吹く) 低いと言われたら、ピッチが上がるように、強めに吹きます。

オカリーナは、正しいピッチになるように息をコントロールしなければならないということがわからず、楽器のせいにする方がいらっしゃいます。

ピッチをあわせられないのは、演奏者がいけません。(技術不足か、楽器があわない)

楽器があわなくて、努力してもピッチがあわせられなかったら、そんな楽器に固執してはいけません。ハーモニーを乱す元です。

●検索していたら、こんな厳しい発言を見つけました。素敵な演奏は、聴いていても演奏していても満足できるものです。日々の努力と、買い替えの決断・・・これが“コツ”かな？

### 【善久(Zenkyu)東日本後援会よりお知らせ】

◎後援会会費より、コンサートの受付を飾るお花を購入いたしました。(写真) 何度も使えるように、敢えて生花ではなく光触媒の造花にいたしました。5月11日(日)の「牛久市文化協会主催善久(Zenkyu)オカリーナコンサート」でデビューしましたが、今後のコンサートでも皆様のお目にふれることと思っておりますので、よろしく願いいたします。



◎原油価格高騰により、会報等印刷代その他の価格が上昇しております。善久(Zenkyu)東日本後援会としましては、今後も充実した活動を展開するために、会費の値上げをさせていただきます。どうぞご理解ください  
(年会費 1,200円→1,500円)  
ただし、入会金 1,000円につきましては、据え置きとさせていただきます。

### 【平成20年6月現在会員数】

●土浦オカリーナ同好会	24名
●オカリーナ・アミーゴ	24名
●オカリーナトゥッティ	24名
●ポポの会	13名
●オカリーナせたがや	28名
●善久オカリーナ教室	6名
●善久ケーナ教室	4名
●メープルひばり	3名
●オカリーナフレンズ	11名
●個人会員	19名
合計	156名

善久(Zenkyu)後援会ホームページ  
<http://www.zenq-eastjapan.org>

## 善久(Zenkyu)東日本後援会

会長 直井重光

TEL0299-24-1509 FAX0299-24-0708

Mail: [naohikaru@aol.com](mailto:naohikaru@aol.com)



### 編集後記

●オカリーナに出会ってから、音楽の楽しさが分かるようになりました。役員の方々のホットな熱意に感動し、あらためて蔭の力の大きさを感じております。

(自然大好き娘)

●仕事が忙しくて心のゆとりがない時、善久(Zenkyu)先生のCDを聴いて癒され、役員の皆さんと顔を合わせるたびに、元気のパワーをもらってまた頑張ろうという気持ちになります。そんな素敵な仲間との出会いがあったことをとても嬉しく思います。後援会頑張るゾ！

(コバ)